

「一般社団法人町田市介護サービスネットワーク」

設立趣意書

私たちは、史上前例のない超少子高齢社会に直面しています。人口減少を伴った高齢者を支える若年者の減少と介護を要する高齢者の増加は、社会保障制度に大きな転換を迫っています。それは、社会経済的に若年者が高齢者を支えるという枠組みや構図に限界が明白になったことであり、その現実にとどのように向き合うかが問われています。特に、団塊世代の高齢者には、かつて親を支えたように自分も社会が支えてくれるのだろうかという不安と孤独感が強くなってきております。

介護保険制度は、そのような高齢者を社会全体で支えるという理念のもとで導入され、大きな成果を上げております。しかし、制度発足から10年が経過して、超少子高齢社会の圧力が予想以上に強く、制度での対応に苦慮しております。特に、介護職等の担い手不足は、事業所の経営の根幹に関わり、かつ市民福祉にも大きな影響を及ぼす重大な課題になっております。私たちは、これからの社会は、若年者が高齢者を支える社会から、血縁を超えた隣人が、共に関わり合い支え合う社会に入りつつあると認識しております。それはまた、高齢者、家族、地域住民、介護事業者、行政等が、それぞれ対等な立場で、責任を分かち合いながら統合していく社会とも言えます。私たちは、介護保険事業者を主体とする団体として、介護職等の担い手不足という社会的課題を担っていく責務を自覚しております。その方策として、個人が、機関が、組織など様々なセクターのつながり合いや機能と役割を補完し合いながら地域社会の課題に対応していくネットワーク構築に大きな力を信じております。

私たちは、介護職等の人材確保・人材開発・就労継続支援等の事業を通して、介護保険事業所の職場環境の改善に寄与しつつ、また様々なセクターのネットワーク構築を図り、市民の安全・安心と福祉の向上に寄与することを目的に設立します。

2012年2月16日

